

公表日

令和8年 3月 20日

事業所名

こぼんはうさくら 旭川中央教室

保護者等数(児童数) 24名

回収数 20件(割合83%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	18	3			・おにごっこ・ドッチボール等、身体を十分に動かせるスペースを確保されていると思います。	これからお子様安心してできる環境づくりを継続していきます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2		3	活動時などの人員配置はわからない。	お子様が安全で、安心して支援を受けられるために必要な人数の職員を配置しています。より保護者様が安心してお子様をまかせていただけるように人員配置を検討していきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20			1		例えば、視覚からの情報を得られやすいようにホワイトボード用意するなど、お子様の特性に応じた環境を整えています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1			・いつ何とも清潔感のある空間で安心できます。 ・とても綺麗で安心してこどもをまかせられる空間だと思います。	これからお子様清潔で衛生的な環境で安心して過ごせるように清掃・消毒を継続していきます。	
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	21				先生方がこどもを理解して、適切な対応がされているのでとても勉強になります。	お子様の特性・状態の変化に応じた支援を提供できるように職員・関係機関・保護者間で情報共有をしながら進めていきます。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21					公表している支援プログラムを実際の支援に取り入れながら、その日にいらっしゃるお子様が参加しやすい内容になるように工夫していきます。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21					今後もお子様の日々の発達状況や保護者様が抱えている思いをくみ取りながら個別支援計画を作成していきます。	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21					放課後等デイサービス計画には、ガイドラインに沿って必要な項目を適切に選択し、個々に具体的にお子様にあった支援内容を設定していきます。	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			1		今後も放課後等デイサービス計画に沿ってお子様に必要な支援を提供していただけるような計画を適宜見直しながら支援していきます。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	2			・同じプログラムでも内容を多変えたりレベルアップしたりと工夫されています。 ・いつもおもしろいイベントがあり、イベント表をこどもと一緒に見るのが楽しみです。 ・いつもおもしろい取り組みを考えてくださって、子供から話を聞いてもらっています。	お子様が興味を持ち、参加したいと思えるイベントを毎月発案・実施し、結果を次回のイベント発案に活かしています。	
保 護 者 へ の 説 明 等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	1	3	3		他の施設との交流は実施に至っていませんが、僅かながら地域との交流の機軸が設けられているため、今後はその機会が増えていけるように計画を進めていきます。	
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	21					今後も保護者様が安心してご利用できるように運営設定・支援プログラム、利用者負担等について丁寧に説明を行います。	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20					放課後等デイサービス計画を作成した際には、保護者様に提示し項目ごとに丁寧に説明することを心がけています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	1	5	5	・最近はなくなくなりましたが、機会があれば子育てに前向きになれると思います。 ・以前にはあったが、ここ1〜2年は無いように思います。	近年は実施に至っていませんが、来年度に向けて計画していきたいと考えています。	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20	1				情報共有をして、家での様子、こぼんでの様子を共通理解ができていると思うので安心です。	今後も送迎時・連絡ノート・電話・LINEにて保護者様と連絡をとり、共通理解をしていきます。
	16	定期的、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	2				・半年に1回のモニタリング・送迎時にも相談させてもらったり、アドバイス参考をさせてもらっています。 ・困ったときに臨機に真剣に向き合ってください、子どもも助けられました。	今後もモニタリング・送迎時の情報共有時にお話を伺い、対応方法などをご提案させていただきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	20	1					今後もお子様や保護者の気持ちに寄り添った支援ができるように送迎・連絡ノート・電話を通じて情報共有していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	1	2	5	お祭り等、家族が参加が可能ではありませんが、保護者同士の情報交換できる場があれば嬉しいです。	毎年ご家族全員で参加していただけるこぼんまつりというイベントがあります。今後は保護者様同士が情報を共有できるような環境を追加できるようなイベントを計画していきたいと思っています。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2				迅速に対応していただき、学校側にも連絡を取ってもらったりと良い方向へ向かうために色々説明していただきました。	今後も引き続き相談等があった際には、迅速に対応できる環境を整えて、適切に対応できる体制を整えておきたいと思っています。

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	1			電話やLINEなどのツールを通して、普段から気軽に相談ができるような環境を整えております。意思疎通が円滑に行えるよう、話しやすい環境づくりに努めて参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	1			1ヶ月に1回こぼんによりて活動概要や行事予定、その他連絡事項についてホームページでは自己評価の結果を公表しています。インスタグラムではお子様の活動の様子を掲載しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19				お子様うご家族に関わる個人情報について施設内で厳重に保管し、外部に漏洩することが無いように職員全員で徹底しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17		1	1	各種マニュアルについては保護者様に説明させていただいております。避難訓練定期的に実施して、避難が必要な状況に備えています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	1		2	避難が必要な際に落ち着いて避難できるに定期的に避難訓練を実施しています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19				今後もお子様の安全を確保するための計画について保護者に丁寧に説明を行い、実查にお子様の安全を確保した環境で支援していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	2			小さな痛み・怪我でもきちんと報告してもらっています。今後も小さな痛み・怪我であっても速やかに保護者様に連絡し、情報伝達を徹底していきたいと思います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	17	2			家のように安心していると思います。お子様が安心できることが大前提ですので、今後もお子様が安心して過ごせる環境づくり・支援を行っていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	17			2	「ごぼんが楽しい」「あの活動が楽しみ」と思っており、お子様が様々な経験を通して達成感が得られる活動を検討していきたいと思っています。 <small>・学校の帰りにごぼんを楽しみに通所しています。 ・別のデイサービスを楽しみにしている時もある。その理由として、1日で完結するのではなく何日かけて制作をする日があったり、「何がしたい?」と利用児童に尋ねて活動する日があったりすること等が挙げられる。 ・希望も楽しんでいます。</small>
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	1	1		あたたかいご声援ありがとうございます。お子様・保護者様に安心してご利用いただけるように今後も職員一同一丸となって取り組んでまいりますので、よろしくお願いたします。

公表日

令和8年 3月 20日

事業所名

こぼんはうすくら 旭川中央教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	利用児童が運動する場としては少し狭い気がする。	お子様の学年・体型に合わせて、教室内での活動をずるグループ・お出かけするグループの二手に分かれて活動する日を設定して、お子様の活動に十分なスペースを確保していきます。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	10	1		より質の高い支援を提供できるように職員数を改善中です。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	11		ホワイトボードの使い方や活動結果の掲示を改善することにより、構造化やユニバーサル面での工夫ができそうな気がする。	職員の意見を反映させて、お子様目線で分かりやすい構造化された空間づくりができるように検討していきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11			より質の高い支援を提供できるように職員数を改善中です。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	1		よりお子様が快適で安全に過ごせるように日々見直しをしながら改善中です。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10			今後も情報共有がより円滑に行えるように日々のミーティングにて丁寧に伝えていきます。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			今後も保護者の意見を真摯に受け止めて、次年度に向けて改善を行っていきます。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11			全体ミーティングに限らず、個別でも面談などで定期的に個々の職員の意見を発する場が設けられている状況なので、引き続き意見を出し合って業務の改善に繋げていきたいと思う。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9	1		今後も第三者による外部評価の機会を設けていきます。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11			今後は外部の研修を受講するシステムを整えていきます。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11			今後もお子様たちに必要な支援かつ楽しめる内容のプログラムを提供できるように検討していきます。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11			今後も保護者様のニーズや思いを適切に反映させながらお子様に必要な支援内容となるように作成していきます。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		1年に3～4回時間を確保した上で事例研究などの日々の実践に繋がる研修会があると良い。	職員の意見を反映させて、実践に行かせられるような研修会の実施を検討していきたいと思えます。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11			定期的な会議やミーティングにて情報を共有しています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1	SM発達検査などを必要に応じて行い、プログラムに活かしていく。	今後も必要に応じてアセスメントを行い、プログラムに活かしていきたいと思えます。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11			今後も必要項目を満たしながらお子様に必要な支援内容をわかりやすく記載していきます。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10			今後も内容を発展させながら繰り返し行い、理解を深め習熟できるようなプログラムを立案していきます。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10			今後も引き続き、全てのお子様の発達状況に応じて、楽しく、成長できるプログラムになるように検討していきます。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		低・中・高学年等、集団ごとの活動計画がほしい。	今後は各学年に応じた活動計画を検討していきたいと思えます。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			毎日のミーティングにて、当日の支援内容がお子様の課題に
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9			今後も翌日のミーティングにて振り返りを行い、よりよい支援になるように改善策を検討して共有しています。

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			今後も、日々の療育の中で気が付いたことを職員間で共有して、翌日のミーティングでさらに良い支援にいくために改善策を検討していきたいと思います。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			今後も引き続き、定期的にモニタリングを実施し、お子様の発達状況から考えて支援計画が適切であるかどうかを検証し、適宜修正を行っていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	8			日々職員間で相談しながら、療育内容を検討し、支援を行っています。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10		子供が自己選択して活動する場を定期的に設ける。	今後もお子様が自分で選択して活動できる場を設けていきたいと思っています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			事業所内で会議を行い、情報を共有した上で会議に参画しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9			今後も引き続き、サービス担当者会議や関係機関連携会議では対象となるお子様の状況を深く理解している職員が出席するようにして体制を整えていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10			電話や会議などで定期的な情報共有を行っています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9			お子様・保護者様の不安を少しでも軽減できるよう今後も就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で支援内容の情報共有を行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			該当なし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	2		今後もお子様の様子や状況の変化に応じて児童発達支援センターと連携し助言を受けながら共通の認識のもとで支援を行っていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	1		こぼんまつりというイベントでは、地域のお子様や住人の方にも利用していただき交流を図りました。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2		該当なし
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			今後も送迎時は勿論、保護者様とお子様の状況や様子の変化について細かく連絡を取り合い、発達の課題や目標、方針について共通認識のもとで支援していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		今年度は実施に至りませんでした。以前行った会が好評だったため、次年度の実施に向けて計画を進めていきたいと思っています。
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10		
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			保護者様のご要望やお子様のお気持ちや踏まえ、同内容を反映させた計画を作成していきます。
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11			今後も定期的に支援計画を提示し、現状を説明したうえで目標内容の変更等についての理由を丁寧に説明し同意を得たうえで支援を行っていきます。
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11			今後も引き続き、定期的に面談を実施し、保護者様の悩みや不安定な気持ちに寄り添いながら、助言を行っていきます。また相談を待つだけでなくご家族の悩みや大変さに気づきながら必要な時にお声がけをするなど寄り添ったサポートを行っていきます。
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだいで交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	2	こぼんまつりというイベントにて行われている。	保護者様同士の交流する機会にはこぼんまつりというイベントで設けられていますが、父会や保護者会という名目で実施はしていませんでした。次年度は保護者の開催を検討していきたいと思っています。
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11			お子様や保護者様から相談の申し入れがあった場合には迅速に体制を整え、柔軟に対応を行っていききたいと思います。
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11			月初めにこぼんだよりを通して活動概要や行事予定を発信した上で、その他インスタグラムを通して日々の活動の様子について各ご家庭に発信しています。
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11			入職した際だけではなく、定期的に個人情報の取り扱いについて注意を呼びかけ、外部に漏洩することが無いように徹底しています。
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11			今後も、お子様にとってわかりやすい言葉や表現方法で伝え、保護者様にも伝わりやすい伝達手段で意思疎通を図っていきます。
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	4	こぼんまつりというイベントにて行われている。 ・イベントを実施する際に実現できると良いかもしれない。	こぼんまつりというイベントにて地域との交流する機会は多少ありましたが、さらに地域に開かれた取り組みを検討していきたいと思っています。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	11			全職員が各種マニュアルの保管場所を認知できるように新しく入った職員にも適宜伝達し、訓練時に円滑に対応できるようにフォローしていきます。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11			業務継続計画を策定し、研修を行った上で非常災害発生時を想定した訓練を定期的の実施しているため、今後も引き続き訓練を実施し、職員が自信をもって対応できるようにしていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10		1	今後も契約時・定期的にご家族様に服薬や予防接種、てんかん発作等の既往歴を確認したうえで対応方法についてもご家族と共有し必要時に備えていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		1	普段から食物アレルギーについて医師の指示書を元に対応しており、その他アレルギーが起きにくい食材を選ぶなど注意し支援にあたっているため、今後も引き続き実施していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11			今後も安全計画を作成した上で安全管理を題材とした研修を実施し、必要時に行動できるように備えていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10			今後もお客様の安全確保のため、安全計画に基づいた家族との連携対応を行えるように契約時等の際に周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11			今後も、些細な事でもヒヤリハットとして職員間で共有することで危険を予知し対応力の向上を図っていききたいと思います。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11			今後も引き続き、虐待防止に関する研修会を実施することで職員が正しい支援方法について学ぶ機会を設けていきたいと思っています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10			全ての職員が自信をもって対応できるように、定期的に身体拘束の要件について周知し、共有していきます。